

さばかんつうしん

さんばんぜかんきょうがくしゅうかん



ふなばし三番瀬環境学習館、
ふなばし三番瀬海浜公園から、
毎月情報やメッセージをたくさん
掲載している「さばかん通信」。
ぜひご利用ください。

こんげつ

今月のテーマ

かんさつ コメツキガニを観察しよう

はる ちか あたた ひ がた い うご かっぱつ
春が近づき暖かくなると、干潟にくらす生きものたちの動きが活発に
なり、観察しやすくなります。今回は、潮が引いて現れた三番瀬干
潟でカニを見つけるコツをご紹介しますよ。さあ、このさばかん通信
を持って、さっそく干潟に行ってみましょう!

記事を書いた人

科学コミュニケーター 大瀧



以前、風がとても強かった日の干潟で、風にあおられたコメツキガニが私の足元を豪快に転がっていったことがありました。その光景がたまにふと頭に浮かんで、つい思い出し笑っています。

ちい ちい すな 小さなカニの小さな砂だんご

ひ がた あしもと み めじるし ちい すな み すこ ある
干潟では足元をよく見てみてください。目印は小さな砂のおだんごです。見つからなければ少し歩いて
みましよう。陽が当たって砂が乾いている場所がいいかもしれません。おだんごを見つけたら、すぐ近くに
ちい あな 小さな穴があります。その穴がカニの巣穴です。穴から2、3歩離れたところにしゃがんで静かに待ちます。
30秒くらい待つと……ほら、ちい で 30秒くらい待つと……ほら、小さなカニが出てきましたよ。「コメツキガニ」です。こちらが動くとおどろ あな
に隠れてしまいます。そっと観察しま



すな 砂だんごは、みんなの小指の爪より小さいぞ



あ コメツキガニに会えたかな?

しょう。コメツキガニはゆっくり動き出して、砂の中にある栄養を食べ始めます。そして残った砂を小さなおだんごにして捨てます。そう、あの小さな砂のおだんごは、コメツキガニがごはんを食べた痕だったのです。

ちい こい 小さなカニの「恋ダンス」♪

もう少し暖かくなると、コメツキガニの恋の季節がやってきます。オスは左右のハサミを振り上げてから一気に
おろし、メスへアピールします。この行動は専門的な言葉で「ウェービング」といいますが、その様子はまるでダン
スをしているよう。まさに恋ダンスです。春から夏にかけて、干潟のあちこちでコメツキガニの恋ダンスが
み 見られます。うまくいけば、周りを360°コメツキガニたちに囲まれた状態で観察することもできます。今回ご紹介
したコツを思い出してチャレンジしてみてください。

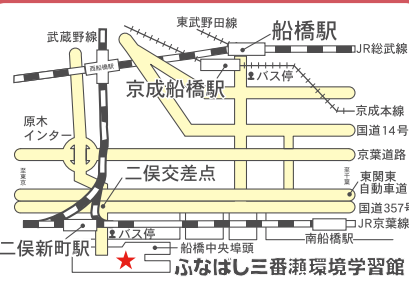
3月16日(土)より、春の特別展「三番瀬
なりきり運動会」がスタートします。干潟にくら
す生きものたちになりきって運動会を楽しもう!
ぜひ遊びにきてくださいね。(大瀧)



振りあげて……

一気におろす!

これが恋ダンス♪



ふなばし三番瀬環境学習館

[開館時間] 9:00~17:00 [3月の休館日] 3/4(月),5(火),
11(月),12(火),18(月) [アクセス] 電車・バス:JR船橋駅・
京成船橋駅、JR二俣新町駅から京成バスシステム「船橋海
浜公園」行終点下車 / 車:国道357号二俣交差点を「船橋
中央ふ頭」方面へ(駐車料金普通車:500円) [お問い合わせ]
〒273-0016 千葉県船橋市潮見町40
電話:047-435-7711 FAX:047-435-7712
メール:pr@sambanze.jp
公式ホームページ: https://www.sambanze.jp/



や ちよう 野鳥インフォメーション

ハマシギは、三番瀬で秋
から春にかけて見られるシ
ギのなかまです。ミユビシ
ギによく似ていますが、ハ
マシギは嘴が長く下にやや
まがっています。(大口)



ハマシギ

ミユビシギ

夏羽では腹部が黒い